

寺報みょうとく

浄土真宗本願寺派妙徳寺
 (安芸教区志和組)
 発行責任 寺報編集委員会
 東広島市八本松町飯田六〇二
 電話〇八二四一八〇一四四



令和三年度 護持会費納入

ありがとうございます

十一月二十五日の報恩講の後、護持会報告会を開催しましたがその時に翌年度の会費納入のお願いをいたしました。

三月十五日現在、多くの皆さまにご協力いただいております。納入期限は三月末としていますが、引き続き受け付けております。

本山への納入金、本堂などの建物の共済金、寺報作成と郵送費用などに活用しております。さらに寺院護持活動のためのご協力を呼びかけさせていただきます。

今は新型コロナウイルス感染症対策のため、法座日程を短縮し「お茶の会」を中断するなど以前のような活動はできていませんが、皆さまのご意見を伺いながら今後の寺院活動を模索していきたく考えています。



寺院活動のための 新型コロナウイルス感染症拡大防止の方針

安芸教区志和組13カ寺

<趣旨>

現在、地域の様々な活動・行事が、また本山別院・各寺の法座や行事も自粛あるいは短縮や中止などの判断をとっております。これらは感染症拡大防止のための措置ではありますが、一方で仏縁が遠のいてしまうことが危惧されます。

今後私たちの法座の機会を守り寺院活動を消極的なものにならないために志和組法中で協議、感染防止対策をとりながらより安全な法座を開催することを目的として、あらためて次の5点を志和組法中の方針として申し合わせることにしました。

<志和組法中としての方針>

- [1] 手指の消毒設備の設置、マスクの着用依頼、室内の換気、飲食提供に対する配慮等、適切な感染防止対策を講じること
- [2] 3密(密閉・密集・密接)の状態にならないよう互いに配慮を心がけること
- [3] 大声での発声、歌唱とならないように配慮し、又は近接した距離での会話等を控えるように呼び掛けること
- [4] 参拝くださる方には事前の検温をお願いし、37.5 以上ある場合は参拝を控えていただくようお願いすること
- [5] 相手の痛みを知る仏教徒として、感染者・医療関係者やその家族などを誹謗・中傷・差別になる言動を厳に慎むこと

これらの内容をご留意いただき、ご理解ご協力の上ご安心して参拝いただきますよう慎んでお知らせいたします。今後も状況次第で協議し、新しい方針をお示しいたします。

一語法話

引き続きご理解ご協力よろしくお願ひいたします。

『正信偈の十二光』



阿彌陀仏はすべての人を救うためにどのような人になられたのか？親鸞さまはその働きを『正信偈』で十二の光とお教えくださいました。それぞれどのような働きなのか、親鸞聖人のご和讃を通して味わってみます。

「清浄光」
 「清」とは、清らかな水は

私のへウレーカ

いろいろな場面で「わかったぞ」と感じられたことがおありだと思います。このような皆さまのご経験を「へウレーカ(そうか!)」と題して掲載してあります。仏教や浄土真宗に関するだけでなくも構いません。皆様方からの投稿をお待ちします。

今回は仏法会員の玉田さんに寄稿していただきました。

永代経とは？

永代経というお経はありません。中国の漢時代ごろの民間信仰で、亡くなった人の追善供養のために祠堂(位牌を納めるお堂)を建てたことに始まり、本来仏教とは無縁だったそうです。

仏教が日本に渡ってくる、真言宗や天台宗に取り入れられ、祠堂金、祠堂銭、祠堂米など祠堂を維持する金銭を納めるようになった。

浄土真宗は仏教全般に行われてきたお盆や彼岸、永代経や葬儀などを取り入れましたが、独特の解釈と扱い方をします。先祖供養としての法要はしないためお盆では施餓鬼といったことはしません。

鏡をつけたら世界は青色に見えるし、黄色の眼鏡をつけたら世界は黄色に見える。たとえ世界が赤色に見えたとしても、赤色の眼鏡をつけているだけで実際は

彼岸は仏徳讃嘆として執り行います。

伝統的には葬儀が終わって四十九日ごろ、一連のお弔いが終わったご家族がお寺に「永代経懇志」をお納めくださいました。お寺ではこの懇志を建物の修繕、本山への上納金、法座の開催費用、法衣・仏具購入、次の住職の教育費用などに活用します。永代にお経が維持されるための懇志なのです。

仏となられた先人方々は私に「どうか仏道を歩んで仏の教えを聞いておくれ、同じお浄土に生まれる身となれよ」と願われています。自分が受けてきた多くの御恩をよこさし、周りの目に見えない存在を大切にできる人にならせていただくために、法友に出会い仏法の味わいを深める場がなくてはなりません。

まず私が仏法に会わなければ、仏法は永代どころかここで潰れてしまいます。法友が待つお寺でお経に親しみ、仏さまのお心を聞かせていただき、自らを振り返り、よろこびと感謝、慚愧と報恩の生活を心がけていただきたいと思います。

(文 玉田義幸)

そうではありません。私たちは自分の思い込みで世界を見ているので、相手がある分、相手の馬鹿にしているように思えても、それは、自分がそう思っているだけで

実際の所は分かりません。「清」とは自分の思い込みの色眼鏡をはずして世界がそのままに見える事なのです。

(次頁へ続きます)

行事予定

新型コロナウイルス感染症リスク軽減を目的に法座回数を当面減らすことといたします。「注意ください」。

四月二十五日(日)

午前十時 初参式 はなまつり
 午後一時 會員物故者追悼会

仏婦法座 (ぶつぽほざ)

講師 廿日市市 最禪寺
 米田 順昭 師

五月二十一日(金) 午後一時から二時半

永代経法要・降誕会
 並びに 護持会総会

講師 住職自動

六月十九日(土) 午前九時 午後二時

安居会 (あんぐい)

講師 住職自動

七月四日(日) 午後一時

川上仏婦法座 (寿福寺さまにて)

講師 安芸太田町 正覚寺
 清胤 弘英・祐子 師

(前頁からの続き)
次に「浄」とは、穢れが無い状態をいいます。好きとか嫌いとかにとられる事で、好きなものに対して「もつと、もつと」と求め貪り、反対に嫌いなものに対しては嫌悪感を懐いて近付くことが苦しく耐えられなくなる、これが穢れです。この気持ちが無くなり好きなものを貪る事がなく、嫌いなものに対して苦しいことが無くなった状態を「浄」といいます。

「清浄光」とは、物事のありのままのすがたを見せる

『藝州賀茂郡飯田村 獨歩行』
竹本省三

総代の竹本さんの、郷土の歴史を中心としたコラムです。あらためて郷土の歴史を知り、先人に思いを馳せながら読ませていただきます。

其の六
日本最古の「男尊女卑」「女性蔑視」

天地開闢
最初に混沌とした世界に天地が生れました。
神生み
次に造化三神が生れた。その三神は皆男神であった。その次に神世七代と呼ばれた神々が生まれた。
国生み

事によって自分の思い込みが気付かせ、それによって自分が好きだと思ってるものがそれ程価値あるものではない事を知らせて貪る事をやめさせ、また嫌いなものに対してはそれによって思い通りにならない事があったとしてもそれは自分にとってそれほど大きな問題ではない事を知らせて苦しみを取り除いてくれる働きなのです。

「和讃を読んでみましょう。」
道光明朗超絶せり
清浄光仏と申すなり
ひとたび光照かふるもの

業垢を除き解脱を得
「道」とは仏になるための道、それを明るく照らす光こそが「清浄光仏」たる阿彌陀仏の働きだとおっしゃっています。

私達には真実を知る智慧がないので自分を客観的に見ることが出来ず、そのために自分が好むものを幸せだと勘違いして求めていきます。暗闇の中では自分の姿が見えないのでおかしなことをしていてもそれがおかしいと気付くことができないように、愚痴の闇に閉ざされている私達は何が正しいか間違っているか分からないのに、自分がやってる事が正しい事なんだと思いつけて苦しみを重ねていきます。そんな私達に阿彌陀仏は光を与え、仏になる道、心を浄化していく道を明らかにして下さい、これが「道光」です。この道光によって自分のすがたが明らかに、些細な事で一喜一憂していた心に智慧を与え、晴れ晴れとした明るい心(明朗)にしてください。

「真実を知らずに百年生き

しいか間違っているか分からないのに、自分がやってる事が正しい事なんだと思いつけて苦しみを重ねていきます。そんな私達に阿彌陀仏は光を与え、仏になる道、心を浄化していく道を明らかにして下さい、これが「道光」です。この道光によって自分のすがたが明らかに、些細な事で一喜一憂していた心に智慧を与え、晴れ晴れとした明るい心(明朗)にしてください。

「真実を知らずに百年生き

るよりも、真実を知って一日生きる方がずっと素晴らしい」と教えられています。確かに真実を知らない人の一生は喉が渇いている時に塩水を飲むようなもので、求め続けても心が満たされることがなく果てしなく苦しみます。こんな私達に真実を見る目を与え、苦しみ迷いの世界から抜け出させてくださる働きが「超絶」であり、それこそが「道光」である「清浄光」の阿彌陀仏なのです。

清浄光の働きによって智慧の目を頂き自分のすがたが

知らされた人は間違いを間違いだと気付き反省し正して前に進める事ができるので、「苦しみから抜け出す」として「もがき、かえって余計に苦しむ」という苦しみ連鎖から抜け出す事が出来るのです。

(次号へ続く)

編集後記
八本松飯田在住の松川裕子さんに寺報題字をお願いし、今回から使わせていただくことになりました。

少しづつ、よりたくさんの方に参加いただいて、寺報と護持会を充実させていきたいと思えます。
(編集委員会)

「写経の会」開催予定日
4月 23日(金) 午後2時より
5月 28日(金) 午後2時より
6月 25日(金) 午後2時より
申し込みは 代表 西本さん(428-2466)、または妙徳寺へご連絡下さい。

「妙徳寺仏教壮年会例会」開催予定日
4月 10日(土) 午後7時から定例会
5月 8日(土) 午後7時より定例会
6月 12日(土) 午後6時より寺報編集会議
毎月第2土曜日午後7時開催を原則としています。

「生きていくための仏の教え 仏教基礎講座」
4月 10日(土) 午後2時より
5月 8日(土) 午後2時より
6月 12日(土) 午後2時より
申し込みは 代表 廣川さん(428-5935)、または妙徳寺へご連絡下さい。

「おみのりサロン」開催予定日
5月 12日(水) 午後2時より1時間半(『大乘』講読会と座談会など)

「お茶の会」開催予定日(参加者募集中、ご連絡ください)
現在休止中、再開については電話かホームページでご確認ください。

神世七代の中に伊弉諾尊(兄)と伊弉冉尊(妹)がいた。この兄妹の神が混沌とした大地を矛で掻き混ぜると、矛から滴った海水が凝り固まって島となり、磯馴島となった。続いて吾恥島(淡路島)、大日本豊秋津洲(大和)、伊豫二名洲(四国)、筑紫洲(九州)、徳岐洲(隠岐島)、佐渡洲(佐渡島)、越州(北陸)、大洲(周防大島)、吉備子洲を生んだ。これを大八洲国という。

ここまで、聞き覚えのある話と思いますが、大八洲国誕生の前に、国生みに失敗した話があります。

天の御柱巡りの儀式(結婚式)に、女神イザナミが男神イザナキに先に声をかけた。所謂「女人先言」にあつたと

いう神話があります。結ばれた際に女神が先に求めたので、夫婦帰りの違反行為という事になったのです。その罰として水蛭子が生まれた。その子は未熟児だったので三年経つても育たなかった。可哀そうに、葦船に乗せられ海に流されてしまった。続いて生まれたアハ島も流され、共に神々の系譜から抹消された。

「こつた」男尊女卑的「な思考は、古代から綿々と続いたのは血統を守る為であった。重畳と続いた神代も、中から伝わった「儒教」が、自然に浸透したのではないかと学者は述べている。兄妹婚では、健康な子供が生まれ難いということと、漸く神々が気付いたのである。神としては人間には悟られたくない話で

ある。これは「近親相姦」への嫌忌以外何ものではない。全く人間臭い話である。

昨今、「男尊女卑」「女性蔑視」が話題となつているので、神話の中の隠微を敢えて詳らかにした。先の東京オリピックは戦後復興を全世界にアピールする絶好の機会を得て、結果は大成功であり、それが弾みとなって日本人は一致団結して働き、先進国の仲間入りを果たした。

「この度は東アジアの不穏な隣国に接しながら、分断化する世界に国家たるべき姿を、人類の進むべき方向性を示す千載一遇の到来である。いまや崇高な矜持が大和民族に失われているのである。開催するしないを論議している場合ではなく、この機会を逃してはならない。「口ナに打ち

勝つた証に開催すると菅総理は述べているが、次の感染源が直ぐに控えているのである。

事績や名譽に恋々としがみ付いている御仁には、晩節を穢さないで、直ちに隠棲をお勧めする。老人に限らず、何が問題になるのか分からず、世界のトップランナーたる人材も覚悟もビジョンもない民族に成り下がってしまった。

(次号へ続く)



妙徳寺ホームページ
http://myotoku-ji.sakura.ne.jp/
ホームページ内で行事予定を随時更新しています



合同墓・墓地案内
有縁の皆さんでおまもりしている合同墓と一般墓地があります。たくさんのお方にご利用いただけます。

志和組テレホン法話「みのりの電話」
433-4989 (しじゅうさんざん、しくはっく)

4月 1日	西方寺	安國真雄
4月 11日	光源寺	堀 靖史
4月 21日	寿福寺	田中初美道
5月 1日	長松寺	中田輝道
5月 11日	西蓮寺	西浦憲雄
5月 21日	浄蓮寺	沼田成子
6月 1日	妙徳寺	大江了証
6月 11日	寿福寺	田中一乘
6月 21日	天龍寺	天野由紀子

志和、八本松川上地区の本派寺院13カ寺のテレホン法話です。3分程度のお話を24時間いつでもお聞きいただけます。ぜひ、電話でもお聴聞してください。